

会議名称	令和2年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	令和3年(2021年)3月23日(火) 14時30分から15時30分まで
会場	平塚市教育会館3階 大会議室
委員数	14名
出席者 委員	12名 陶山正明、萩裕美子、粟生光一、高橋佳久、首藤幸子、鈴木登喜雄、高橋篤、守屋勝教、今村佳広、井上純一、浮田悦治、青木あい
出席者 事務局	5名 平井社会教育部長、佐野スポーツ課長、五島課長代理、奥脇課長代理、天瀬主査

1 あいさつ

本年度新任である今村委員よりあいさつ
陶山会長よりあいさつ
社会教育部長よりあいさつ

事務局より、委員の定数14名に対し、本日の出席者は12名であり、委員の出席が過半数を超えており、平塚市スポーツ推進審議会規則第4条の規定に基づき、本会議が成立している報告がなされた。

事務局より、傍聴人はいない旨報告がなされた。

2 議題

【報告事項】

(1) 令和2、3年度社会体育事業実施状況等について

【事務局】

まず、令和2年度のスポーツ事業の実施状況についてですが、今年度のスポーツ事業については、前回の審議会において、令和3年1月までの事業の中止をご報告させていただいている。お配りしている資料 をご覧いただきたい。新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえ、どのような対策を講じれば実施できるか、関係団体と調整を行ってきたが、ご覧のとおり今年度の事業についてはすべて中止となった。

続いて、令和3年度のスポーツ事業について、資料の2ページから5ページは、令和3年度の事業ごとの予算措置の状況である。令和3年度の予算に係る本市全体の状況としては、市税で30億円以上の減収が見込まれるほか、支出でもコロナの緊急対策として、ワクチン接種の実施、デジタル化の推進、スターライトポイントの継続などが予定され、スポーツ課

を含め、既存のイベント等の事業費は圧縮傾向となっている。

このような状況の中、次年度のスポーツ課の事業予算については、多くの市民の方が参加・体験できるイベント、子ども向けの教室や大会といった行政が担うべき公益性の高いイベントを優先した予算編成とさせていただいた。このため、既存事業の市総体のニュースポーツ大会であるバウンドテニス大会、トリムバレーボール大会と、各種スポーツ大会開催事業の陸上競技のロードレース大会については、令和3年度の計画から外すこととした。また、3ページ下段のねんりんピック2022かながわ大会について、こちらは、令和4年度に本大会の開催を控え、リハーサルなどの開催準備に係る予算を計上している。

これらを踏まえて、令和3年度の行事予定が6ページです。前回のこの審議会でお諮りしました第70回の市民総合体育大会の日程については、体育協会の各種目団体、地区体振等、関係団体のご理解とご協力、施設利用上の調整を経て、例年の8月開催から11月へと変更し実施することが決まっている。市総体の各競技の日程は7ページのとおりです。網掛けになっている射撃とボウリング、自転車競技については、現在、期日内に収まる形で調整している。市総体は例年現地の視察を委員の皆様をお願いしているので、こちらは改めてご案内させていただく。

6ページにお戻りいただき、先ほど予算のところでご説明したねんりんピックの吹矢と囲碁のリハーサル大会がそれぞれ9月と12月に予定されている。また、例年大学交流事業として実施している各種教室を、今年12月に東海大学内で一括で開催するご提案を大学側からいただいた。大学内でスケールメリットを生かしたフェスティバルのような形で実施できないかというもので、総合公園内で市民大学交流フェスタと称して、過去に実施したことがあると聞いているが、この企画については継続して大学側と調整を行っていく。

それ以外のところでは、オリンピック・パラリンピックイヤーということで、リトアニア選手団の受け入れに対応するため、総合公園内の施設の都合から少年野球大会など、日程が例年と異なっている。

総じて、令和3年度のスポーツ事業の実施にあたっては、引き続き、緊急事態宣言の発令状況や、市や県が示す対処方針、本市のワクチンの接種状況などを見極めながら、ウィズコロナの対策を講じることを念頭に、計画を立て実施していく。また、市総体の日程は変更しましたが、夏休み期間の子どもたちを対象としたスポーツイベントは例年どおり予定している。令和3年度は、熱中症アラートが全国展開されると言われており、その対策も必要です。現在、市の健康課と調整しているが、連携協定を締結している企業が主催する熱中症対策のアドバイザー講座にスポーツ課からも参加し、安全にイベントが開催できるよう、またスポーツを行う団体へのサポートに努めていく。

【会長】

スポーツ課の事業とは直接関係はないが、リトアニアのキャンプは予定どおり行うのか。

【事務局】

オリンピック・パラリンピック推進課によれば、選手の受け入れ、聖火リレー、関連するイベントは現時点では予定通り行うとのこと。

【会長】

市民総合体育大会について、体育協会、体育振興連絡協議会が毎年ご苦勞されている大会だが、夏場の暑い時期での開催や学生の大会と期間が重複し人が集まらない等、実施方法については以前から議論が重ねられてきた。令和3年度は、涼しくなる11月に実施時期を変更し、新たに関係団体にはご尽力いただきながら是非実施したい。それに関して、関係団体からご意見をいただきたい。

【委員】

11月開催ということで各地区対応していけると思う。確認ですが、以前検討事項として競技種目の見直しが挙がっていたが、第70回大会は変更なしということか。

【事務局】

以前アンケートを実施し、また、その他にもご意見をいただいております、今後各種目の要項については整理し、各協会、団体と調整しながら可能な範囲で見直しを図っていきたい。

【委員】

例年暑い時期に実施していたので、11月開催はいいことだと思う。ただ仕方ないことだが、スポーツ推進委員に関して、実施月が重なってしまう事業がでてきた。別件だが、6月の関東スポーツ推進委員研究大会が中止となった。

【会長】

野球等の子どもの大会は、新年度は実施するのか。

【委員】

各協会ごとに準備を進めていくことになるが、現在まだ調整はしていない。

【会長】

様々な意見があるが、子どもたちにとっての思い出作りとして大会等は実施してもらいたい。令和3年度スポーツ課予算について、ご意見ご質問等ありますか。

【委員】

特になし

(2) 令和2、3年度社会体育事業実施状況等について

【事務局】

市の行事だけでなく、市民や団体の皆様も思うような活動ができないという状況が続いている。こんな中でも体を動かす、スポーツに取り組む機会を後押しし、市民の健康の維持、増進につながるよう、市のホームページとは別に、スポーツ課が開設しているウェブサイト「ひらつかスポーツナビ」に新型コロナの特設ページを開設した。

資料の8ページのとおり、緊急事態宣言の発令によるスポーツ施設の利用に係る情報を

始め、国や県、市のコロナウイルスへの対処方針、その他、高齢者や家族向けなどを対象に、コロナ禍におけるスポーツ活動や運動不足解消を後押しする情報などを掲載している。9ページから23ページまでは、実際に掲載している情報の一部を抜粋したものである。

この「ひらつかスポーツナビ」は、平塚市と平塚市まちづくり財団が運営経費を負担、NPO法人がシステム管理を担い、3者協働で運営するウェブサイトです。現在、市からのお知らせや大会の結果、平塚ゆかりのアスリートの紹介といった市民向け情報発信のサイトであると同時に、市内のスポーツ団体にも登録いただいて、市民向けの団体主催のイベントの参加者募集のお知らせや、団体内の掲示板としても活用いただいている。登録団体数は現在152団体です。コロナ禍という状況において、この「ひらつかスポーツナビ」の有効性と今後の可能性を再認識しており、令和3年度は、提供する情報内容の充実と共に、より多くの団体に登録いただけるよう積極的にPR活動に取り組んでいく。

最後に、この令和2年度はコロナ禍ということで、事業の実施を検討しながら、スポーツの事業のそのものや在り方を見直す良い機会となったと考えている。基本的にスポーツ課は継続事業が多いが、純粋に競技力を上げる目的で実施されている各種競技大会や教室のほか、市総体や市内駅伝等地域力を上げることに資する取り組み、パラスポーツフェスタにおいては共生社会を促進する取り組みとなっている。このようにスポーツを通じて、様々な社会課題にアプローチできるものと期待されているところであるので、本日お集りの皆様から今後のスポーツの活用についてご意見を頂戴できればと考えている。

【会長】

このスポーツ課の取り組みに対してご意見があればお願いします。

【委員】

特になし

【会長】

議題は以上となるが、本年度最後の審議会なので、令和2年度を振り返って皆様からご意見をいただければと思う。

【委員】

スポーツ庁のスポーツ審議会健康スポーツ部会の会議で話題となっているのが、子どもたちのため、地域活性化のため、このコロナ禍でどんな工夫をして実際イベントを実施していたかであり、その手法について整理している。例えば、少ない人数で何回かまわす、時間を短縮する、広い場所で少ない人数で実施する等が挙げられる。そこに参加した人は密度の濃い経験をして、満足して帰られるのでそのイベントは成功と言える。これからは、どうしたらイベントができるかを考えることが重要である。それを実現するには、自治体だけでなく、民間企業、他団体の連携協力が必要である。令和3年度はより多くのイベントができればと思う。

【委員】

今大事なことはこのコロナ禍の状況を収束させること、無理してイベントを開催し人を

集めるようなことはしないで、個人で自宅で運動に取り組む等考え方を変える時なのではないかと思う。

【委員】

現在感染症対策をとりながら、公民館や体育館で活動している。高齢者は、自宅でひとりで運動しろといってもやらない。フォークダンスについては、参加すると体が楽になる、来るのが楽しみ、といった声があり、密着せず、時間も短くし、休憩時間もおしゃべりするときはマスクをし、ソーシャルディスタンスをとるよう呼び掛けている。健康のために敢えて集まっている。

【委員】

スポーツクラブ連合の団体については、学校施設開放を利用して活動している団体が多く、緊急事態宣言中は活動がストップしていた反面、公共施設を利用している団体は活動していたということで難しい問題があった。また、学校教育下の部活動とクラブスポーツ活動において、学校教育には厳しい条件があり、同じ物差しで動けず、兄弟間でも中学生と小学生で活動の格差が生じた。保護者からも、土日家でスマホをいじっているより、体を動かしてもらいたいという声があった。この時期は、卒団式ができず、次のステップに向かいづらい、区切りがつかないということがある。公式行事は秋には多少実施できたが、緊急事態宣言中の1月から3月は思うようにできなかった。いつまでも活動を止めておくわけにもいかず、子どもの心のケアについての問題もある。今後どうすれば活動できるかを工夫しながらやっていきたい。

【委員】

高校生と小学生が活動しているのに、平塚市の中学生はなぜ部活動ができないのかとの声をよく耳にした。万が一、市内中学校において生徒に陽性が出た場合、感染リスクを減らすために、マスクを外す時間を減らすとなったときに、お弁当を食べる時間と部活動が挙げられる。食事をしないわけにもいけないので、子どもの安心安全を第一に考えると、厳しいかもしれないが、3月7日まで市内中学校一斉に部活動停止とした。3月8日から段階的に再開し、3月22日からは通常に近い形で活動している。但し、練習試合は市内校同士に限り、朝練も停止している。通常の部活動と違い、大会では保護者の観戦の取り扱いが発生し、その分感染リスクが上がるのが予想され、基本的には、大きな大会でなければ無観客、大きな大会は人数制限する必要がある。このように、感染予防対策は子どもだけではなく、それ以外にも先生がご苦労されているのが現状である。

【委員】

ラグビーに関しては、緊急事態宣言中は活動中止。その期間以外では、平塚市で行っているラグビースクールについては感染症対策をとり、接触しなくてもいいような練習を中心に活動していた。県協会主催の大会は参加した。

【委員】

最初の緊急事態宣言中は教室を中止とし、自宅で運動できるよう YouTube チャンネルで

動画配信を始め、現在も配信中である。8月から参加人数を半分にし、健康チェックシートの提出により健康管理をしてもらいながら教室を再開した。教室が行われていなかった期間に体力が落ちた等の声も聞いているので、できる範囲で教室は継続していきたいと考えている。

【委員】

健康推進員は、9月から活動を再開した。健康チェックシートの提出、体温測定、手指消毒等の対策をとり、健康ウォーキングでは間隔を空けて歩く、くすの木体操では2mのソーシャルディスタンスの間隔を確保しながら実施した。参加人数は、通常の半分から2/3であった。令和3年度は感染症対策をとりながら活動していきたい。

【委員】

個人的な話になるが、家族がこの1年テレワークとなり、体格が横におおきくなり、病気になってしまうのではという気持ちの沈みがあった。ここで、ベルマーレやBリーグの試合観戦も出来るようになり、少しずつ気持ちも晴れるようになり、また、運動することが大事であると感じている。これからも日々健康に気を付けていきたい。

【会長】

このコロナ禍当初は、保護者が感染を恐れ、会議や事業等に反対していたが、最近では、子どもたちのために前向きにやっといこうという気持ちの変化が印象に残っている。

【委員】

競技や規模のレベルは色々あるが、我々は、どうすれば一般市民が元気に健康でいられるかを念頭に置き、できることをやっといこうという必要がある。特に、高齢者にとって動かないことに対する危険が謳われている。だがひとりで行動するのは難しく、また、運動に関する情報をただ一方的に発信しても観ない。行政をはじめ関係者が、家でもできるという気にさせるところまで持っていけるきっかけを作らなければならない。そのために皆様の協力が必要となってくると思う。

【委員】

商工会議所ができることは、アクセス数が増えるかどうかはわかりませんが、商工会議所のホームページにひらつかスポーツナビのバナーをつけてみてはと思う。また、ポータルサイトにわざわざアクセスするのは億劫な作業であるので、インスタやYouTubeを活用すれば良いのではないかと思う。例えば、ひらつかスポーツナビのYouTubeチャンネルを作成し、活動内容やコロナウイルスに関する情報を随時配信していけば、市民にじわじわ浸透していくのではないか。商工会議所としては、ベルマーレの選手に健康体操を行ってもらい、商工会議所のページでその動画を配信し、各企業の朝礼体操に取り入れてもらう等行えば、興味をもってもらえると思う。

3 その他

【委員】

緊急事態宣言解除後、公民館利用の制限は緩和されるのか。

【事務局】

公民館、博物館、スポーツ施設を含めた社会教育施設は、国から示されているガイドラインに基づいて対応している。当初は制限が厳しいガイドラインであったが、どうやったら施設を利用できるか等を盛り込んで見直しされてきており、市としてもそれに倣い対応している。緊急事態宣言解除後、市長からリバウンドを防ぐ、ワクチン接種を迅速に行う、変異株への注意喚起等、感染症対策を再度徹底していくと指示があった。これからは更に厳しく制限するというよりは、対策を徹底しながら、できることはやっていく方向で調整していく。

次回の会議日程について、令和3年6月下旬から7月に開催する旨事務局から説明。

4 閉会